

2023年度 第7回 公立大学法人埼玉県立大学教育研究審議会 議事録

1 承認日

2023年10月2日(月)

2 開催方法

WEB 会議

3 参加者

星議長、磯田委員、伊藤委員、林委員、金村委員、常盤委員、東委員、濱口委員、田中委員、國澤委員、山崎委員、久保田委員、河村委員、廣渡委員、柳澤委員
オブザーバー参加:延原情報センター所長

4 事務局

福田副局長、高柳調整幹兼総務担当部長、濱口財務担当部長、酒井施設管理担当部長、小原教務・入試担当部長、今村学生・就職支援担当部長、関根研究・地域産学連携担当部長、山口企画・情報担当部長

5 議事概要

【議事録確認】

議長から前回の議事録が提示され、内容について確認された。

【報告事項】

(1)2023 年度科研費の採択状況について

資料に基づき、濱口研究開発センター長から報告された。

- 転入した教員の科研費採択分はどのような整理となっているか。
⇒ 本学の科研費獲得実績となる。
- 転出・転入した教員の科研費採択件数は同程度か。
⇒ 差し引きマイナス4件となっており、主に大学院研究員や助教の教員が転出した結果である。
- 大学院研究員の科研費獲得状況はどうなっているか。
⇒ 大学院研究員は全部で約30名在籍しており、今年度は継続で7件の科研費を獲得している。また、継続・新規を合わせ、約半数は科研費に応募している状況であり、科研費以外の外部研究費も獲得するなど、活発に研究活動を行っている。

(2)2024 年度分科研費の応募状況について

資料に基づき、濱口研究開発センター長から報告された。

- 応募件数が減ってきている。教員の科研費応募・研究支援をもう少し考えていく必要があるのではないか。
- ⇒ 昨年度から実施している URA による支援を継続し採択率を高めるとともに、研究が採択された後の人的支援を考えていく必要がある。なお、昨年度は13名が URA を利用して半数が採択となったが、今年度は 30 名が利用している。応募件数が減っても採択率を高めることで、中期目標値を達成できるよう支援を続ける。